

～9人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	町長の2期目の町政への抱負は	8
	平成29年度予算編成の基本方針を伺う	
	道の駅国見あつかしの郷の特徴と集客の工夫は	
八島 博正	町のエネルギー政策の方向性は	9
松浦 和子	シンボルである阿津賀志山と道の駅の連携は	10
	小学生の研究発表から考えるまちづくりへの取り組みは	
佐藤 定男	敬老祝金は節目の年齢者に支給しては	11
村上 一	公共施設の統廃合も検討すべきでは	12
	町のPRに応援大使の効果はあるか	
阿部 泰藏	水道料金の見直しと今後の課題は	13
浅野 富男	食育に関連し給食費を補助する考えはあるか	14
	国保都道府県単位化の主な協議事項は	
村上 正勝	ぜひ住みたいと思うまちづくりへの考えは	15
	水辺の小築校の存在を知らせてほしい	
渡辺 勝弘	子育て支援推進協議会の充て職の考え方を見直すべき	16

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

町政を問う

一般質問

12月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

太田 久雄 町長 所信表明 (抜粋)

【3つの基本理念】

国見町の維持とさらなる発展

「ふるさと国見町」を1つの自治体としてしっかりと維持し、未来に向けて安全安心、活力、思いやりのある「魅力あふれる国見町」に発展させる。

町民主役と町民総参加の町政の実現

町民の皆様の目線で十分連携を図りながら、また、町民の皆様がそれぞれの立場でかけがえのない役割を発揮し、町民主役と町民総参加の町政を実現する。

国、県、市町村、関係機関との連携

交流連携を軸に、国、県、近隣市町村をはじめ、国見町と各種の協定を締結した自治体、大学等の関係機関と十分に連携を図る。

東日本大震災、原発事故からの復興・再生は道半ばである。今後も国見町民・関係団体が一丸となって、安心・安全で「魅力あふれる国見町」をつくり、国見町を一つの自治体として、将来に向けて維持発展させることが重要な課題である。

「復興・絆・交流連携」-「国見の未来をみんなで作りましょう」をスローガンに主に3つの基本理念・姿勢のもと「オール国見」の精神を念頭におき「ずっと好きです国見町」「自立したキラリと輝く国見町」を目指し、全力を注ぎたい。

【国見の未来をつくる5つの具体的な約束】

- 東日本大震災からの早急な復旧・復興
- 安全安心な町政の実現
- 活力ある町政の実現
- 思いやりのある町政の実現
- 町の継続的な維持発展

意見書

12月定例会では意見書1件を賛成多数で可決し、国など関係機関へ送付しました。

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

町村では議員への立候補者が減少して住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっており、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが新たな人材確保につながると考え、加入を求めるもの。

可決
(賛成9、反対2)

賛成討論

佐藤 定男議員

現在の地方政治のあり方について、改善の1つとすべく提案されたものである。これにより地方政治が直ちに改善されるものではないかもしれないが、まず1つの入口を設けることでその後の制度や状況に応じて改善がなされるものと考え、賛成する。

反対討論

浅野 富男議員

政治参加の促進は民主政治の進展に重要だが、町村では政治参加を議員として行うのは厳しいものがあるのが現実。格差社会で生活も厳しい中で国民年金だけでは生活できない実態もある。議員の地位だけでなく、現実を含めた議論の中で政治参加を進めるべきだが、現在まだそのような状況になっていないため、賛同できない。

反対討論

松浦 常雄議員

所得や年齢での制限が大変厳しく、どれだけの人が加入できるのか疑問である。もっと内容を吟味しなければ、現段階では賛同できない。